



## 「原発と格差のない平和な未来」を次世代へ

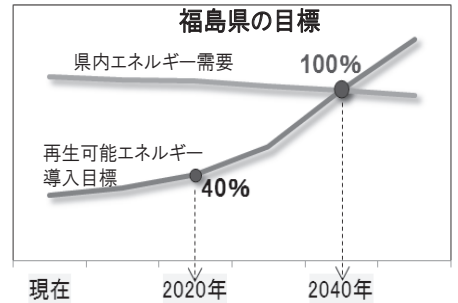
新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年も宜しくお願い致します。

安倍総理への「信任投票」として行われた昨年の総選挙は安倍自民党の圧勝となりました。これまで安倍政権が進めている政策は日本の戦後七十年の平和主義と民主主義の政体を根本から変えるものでした。今年はそれを仕上げる年になりそうです。よその国の戦闘に自衛隊を送り出すような政治を絶対に許してはなりません。「原発と格差のない平和な未来」を次世代へ引き継ぐためにがんばります。

## 「2040年 再生可能エネルギー100%」

県は「福島県復興ビジョン」に「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」を掲げ、主要施策の一つとして「再生可能エネルギーの飛躍的推進による新たな社会づくり」を位置付けました。

具体的な目標としては、2040年頃を目途に、県内のエネルギー需要の全てを再生可能エネルギーで生み出す目標を設定し、特に風力発電の飛躍的な導入と太陽光発電の新たな普及モデル事業等の取り組みを進めています。



## 福島県発電設備の認定第一位

福島県の再生可能エネルギー発電設備は固定価格買取制度が開始された平成24年7月1日から平成26年7月末までの間に446万Kwが経済産業大臣に認定されています。都道府県別では一番大きく、このうち運転を開始したものは22万Kwで都道府県別では22番目となっています。その原因として、除染の遅れが影響しています。

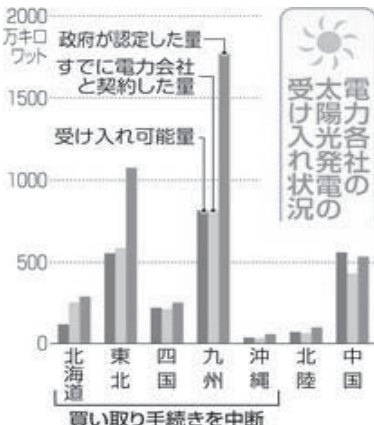
県の新規認定設備のうち、出力1,000Kw以上のメガソーラーが80.3%（全国平均は52.5%）、出力10Kw以上1,000Kw未満の太陽光発電が17.0%、出力10Kw未満の太陽光発電が1.6%となっています。太陽光発電以外の再生可能エネルギーは1.1%に過ぎません（全国平均は4.0%）。全国平均と比べて、メガソーラーの割合が非常に高く、太陽光発電以外の再生可能エネルギーの割合が低い実態にあります。

## 再生可能エネルギー発電に冷や水をあびせる政府と電力会社

県が復興の大きな柱と位置付ける再生可能エネルギーの飛躍的推進とその「先駆けの地」の実現のためには、固定価格買取制度の堅持と送配電網の増強などが不可欠です。

それが政府と電力会社により破壊されつつあります。九州電力が先陣を切って再生可能エネルギーの購入受け入れを中断しました。受付中断の理由について電力各社は「太陽光発電が急増し、需給のバランスが崩れる恐れが出てきた」として「発電量が送電網の容量を超えると、大規模な停電を起こす恐れがある」と説明しています。

これは電力10社が協議して、九州電力に先行させたものと思われます。近年急増しているとはいえ、福島事故前に水力を除く再生可能エネルギーの発電量は全体の1%程度に過ぎず、13年度にはまだ全体の2%程度に過ぎません。



買い取り手続きを中断  
北海道電はすでに無制限の出力抑制を事業者と約束しているため、契約量が受け入れ可能量を大きく上回っている 東京新聞2014年12月19日から

## 原発には固定価格買取制度はお荷物

2012年7月に導入された固定価格買取制度（FIT）は、太陽光、風力、中小規模の水力、地熱、バイオマスの買い取りを義務付けています。根拠法である再生可能エネルギー特別措置法（2011年8月成立）では、電力会社が再生可能エネルギー発電の購入を「拒んではならない」と明記しています。ただし運用上の規則に例外規定として「電気の円滑な供給の確保に支障が生じる恐れがある時」は断ってもよいとなっています。

電力10社はたった2%ほどの再生可能エネルギー電力で、もう「支障が生じる恐れがある」からと、この例外規定を原則規定にするという話です。送電網が不足したり、変電所の容量が足りないところでは、それを速やかに充足することこそ不可欠であり、これは買い取り義務を持つ電力会社の責務のはずです。

全ての再生可能エネルギーを買い取ることができるよう、電力各社は管内の末端にまで送電網を装備すること、また各管内で余る電力は別の地域に送電できる十分な設備を完備すること、揚水式発電を活用し、さらに必要なら蓄電器を装備するなど対応すべきです。

**日本の電源別発電電力量構成比(2012年、10電力計)電事連資料**  
 地熱および新エネルギー1.6%、水力8.4%(再生可能エネルギー計10.0%)、石油等18.3%、LNG42.5%、石炭27.6%、原子力1.7%。  
 ドイツは水力発電の割合は日本より低く、大きな河川は水運に利用し、なるべく自然の流水を維持しダムや堤防は極力造らないようにしている。  
 日本の水力は殆どが大規模ダムですが、ドイツは大小合わせても、3%程度。



中学校跡地を利用した太陽光発電所  
レファレンス2014.12から

**需給調整のしくみを変えれば受け入れ拡大は可能**

本当に電力の管理が不安定になるほどの太陽光・風力発電が大きくなるのであれば、揚水式発電の活用を検討すべきです。夜の原発の稼働率を下げないために造られた揚水式発電は、今はまったく遊んでおり(昨年度の設定利用率3%)、これを再生可能エネルギー発電が多すぎる時間帯に活用すれば、再生可能エネルギーを有効に使い、火力などをそれだけ節約できます。揚水式発電所は、県内には二ヶ所あります。電力会社の本音は原発を再稼働するために、揚水式発電を再生可能エネルギー発電には利用したくないということです。蓄電器を使うという方法もあります。九電などは、蓄電器を準備する発電事業者には今後も個別に購入契約を結ぶとしています。しかし設置は高コストであり、個々のソーラー事業者に負担をさせるべきではなく、効率よく蓄電器を生かすには、電力会社の送配電網の中で、要所、要所に電力会社が設置すべきです。

**避難区域の全量買取でお茶を濁してはならない**

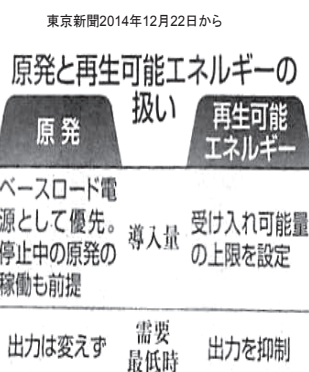
県は電力会社による再生可能エネルギーの買取中断を重大な問題と受け止め、政府と電力会社に11月27日直接知事が提言しました。これに対して政府からは東京電力の送電網の活用の検討、東北電力からは福島を優先する枠の拡大に向けた国との協議等が示されました。1月9日、国との協議が整ったことから、東京電力、東北電力は、避難区域で発電される全量を買収することを明らかにしました。一歩前進したとはいえ、これでお茶を濁されてはかたがたありません。「福島復興の責任を果たす・協力する」というのであれば全県を対象にした買取ができるような受け入れ体制整備が不可欠です。

**買い取り中断は供給過剰を露呈**

再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づいた新規契約を中断したことは、原発が54基停止しても電力は十分にまかなえており、むしろ供給過剰であることを露呈しました。固定価格買取制度は、電力会社が買収する再生可能エネルギーの費用については、みな電気代に上乗せして国民に転嫁する仕組みになっています。政府や電力会社の腹は痛まない構造で、一般家庭の追加負担額は平均して年間2700円にもなりました。経済産業省が認定済みの全発電設備が稼働すると原発約70基分に匹敵します。電力不足の心配などは無用なのです。全体としてエネルギー需要は減っているのに、供給体制だけは必要以上に伸びており、このアンバランスが今回の再生可能エネルギー新規契約の中断にまで陥っています。

**原発再稼働を優先した新ルール**

昨年12月、政府は再生可能エネルギーの買取の新ルールを決定しました。原発優先を前提にして、太陽光などを抑えるものです。電力会社は電力供給力に、現在動いていない原発を算入しています。東北電力は原発の発電量を235万Kwとして、自社分の他これまで電力を買っていた東電柏崎、日本原子力発電、建設中の大間原発も含んでいます。その結果、太陽光は520万Kwとなりました。背景は、左図のように「原発をベースロード電源」と位置づける国の方針があって、電力需要の低いときは太陽光などのエネルギーを抑制して発電調整をするものです。もう一つの問題は、固定買取制度を利用している電気を販売する際、「再生可能エネルギーで作られた」と表示できなくなることです。原発で作られたのか、太陽光で作られたのか、消費者が選択できる情報を表示すべきです。



**廃炉費用を全利用者が負担**

原発の廃炉会計制度見直しに関する経済産業省の有識者会議は12月17日、2016年4月の電力小売り全面自由化後も、大手電力会社の原発廃炉費用を電気料金に転嫁する方針を決めました。廃炉費用を全ての電力利用者に負担してもらい、電力会社が老朽原発の廃炉を円滑に進められるよう、確実に費用を回収できるようにするものです。原発を持たない新規参入の電力小売会社の利用者が費用を負担することになります。やり過ぎではとの声もあります。現在の料金制度は、コストを電気料金の原価に算入する「総括原価方式」により、廃炉費用を電気料金に織り込んで徴収しています。電力小売りの全面自由化によって料金競争が激しくなれば、廃炉費用の上乗せが難しくなると予想されるため、全ての利用者に負担させるしくみをつくるものです。

東京新聞2014年12月18日朝刊から

廃炉会計見直しのポイント

- 2016年4月の電力小売り全面自由化後も、全ての電力利用者に廃炉費用を負担してもらう
- 新規参入の電力小売会社の利用者にも負担を求める
- 廃炉費用は送電線の利用料(託送料)に上乗せして徴収する
- 原発のタービンなど発電設備も廃炉に備えて減価償却の対象に加える